

2 主要施設

工業用水道の施設は、産業活動に必要な水を供給するため、水源から各需用者に至る間に様々な施設があるが、大別すると、上水道と同様に貯水施設、取水施設、導水施設、浄

水施設、送水施設及び配水施設になる。

平成31年3月31日現在における本市の施設概要は、次のとおりである。

(1) 貯水施設(上水道と共用)

名称	有効貯水量(m ³)	所在地	系統
力丸貯水池	12,500,000	【左岸】宮若市下 【右岸】宮若市宮田	遠賀川水系
頓田第1貯水池	4,400,000 (伊佐座取水場から揚水)	若松区大字頓田	
頓田第2貯水池	4,750,000 (伊佐座取水場から揚水)	若松区大字頓田及び大字竹並	
遠賀川河口堰	8,840,000	【左岸】遠賀郡芦屋町祇園町 【右岸】遠賀郡水巻町猪熊	

(2) 取水施設(上水道と共用)

名称	取水能力(m ³ /日)	所在地	系統
伊佐座取水場	209,400	遠賀郡水巻町二西四丁目	遠賀川水系
猪熊取水場	63,200	遠賀郡水巻町猪熊	遠賀川水系(遠賀川河口堰)

(3) 導水施設(導水管)

口径(mm)	300	400	500	600	700	800	900	1,000	1,100	1,200	1,350	1,500	水路	計
延長(m)	28	17	42	4	22	1,020	23	7,253	175	17,348	11,719	12	3	37,666

(4) 浄水施設

名称	処理方式	浄水能力(m ³ /日)	所在地	系統
本城浄水場〔一次〕	沈でん処理	70,000	八幡西区御開五丁目	伊佐座取水場(頓田貯水池)
伊佐座取水場〔二次〕	沈でん処理	112,000	遠賀郡水巻町二西四丁目	伊佐座取水場(遠賀川表流水)
本城浄水場〔三次、産炭〕	沈でん処理	72,000	八幡西区御開五丁目	猪熊取水場(遠賀川河口堰)

(5) 送水施設(送水管)

口径(mm)	200	250	300	350	400	450	500	600	700	900	1,000	1,200	1,350	計
延長(m)	571	20	46	5	154	8,639	592	13	783	8,628	8,163	120	47	27,781

(6) 配水施設

ア 配水池

名称	容量(m ³)×(池)	所在地	系統
城山配水池	4,400×2	八幡西区屋敷一丁目	本城浄水場
引野配水池	3,650×1	八幡西区別所町	伊佐座取水場
畑谷配水池	1,000×1	若松区畑谷町	本城浄水場
小竹配水池	2,080×1	若松区大字小竹	本城浄水場
	2,680×1		
	3,200×1		

イ 配水管

口径(mm)	50	75	100	150	200	250	300	350	400	450	500	600	700	800	900	1,000	計
延長(m)	5	33	2,689	4,524	5,231	2,850	4,003	8,244	9,406	6,595	785	16,912	21,294	1,675	8,419	35	92,700

3 財政状況

(1) 財政の概況

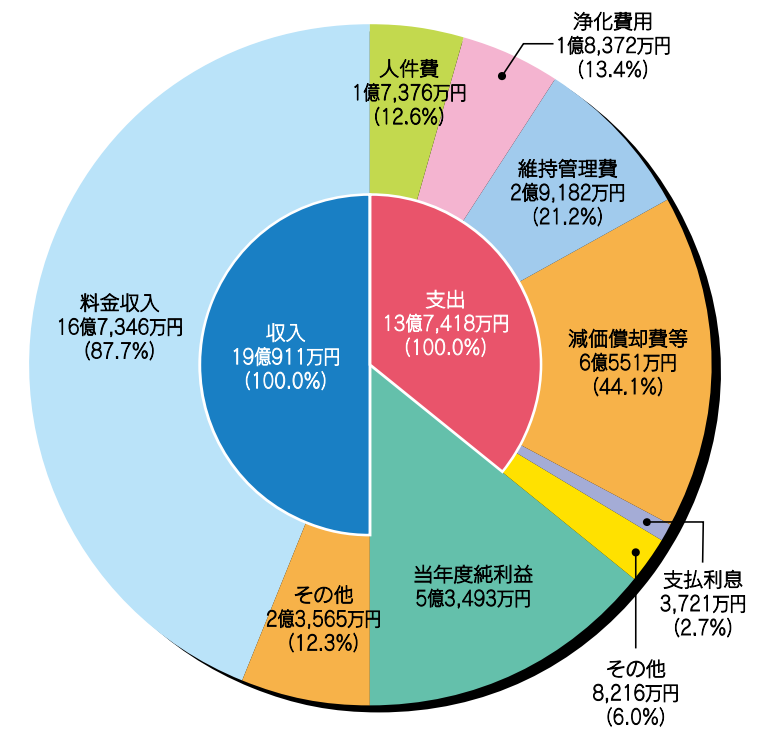
平成30年度は、安定給水を図るための施設整備として工水改築事業を進め、財政面では、単年度で721万円のマイナスとなったが、累計では17億7,611万円の資金剰余を確保しており、引き続き安定経営を維持している。

(2) 平成30年度決算(税込)

ア 収益的収支

収入は営業収益16億7,346万円(うち料金収入16億7,346万円)、営業外収益2億3,556万円、特別利益8万円で総額19億911万円となり、支出は営業費用12億9,365万円、営業外費用7,898万円、特別損失155万円で総額13億7,418万円となった。この結果、平成30年度は5億3,493万円の利益が生じた。

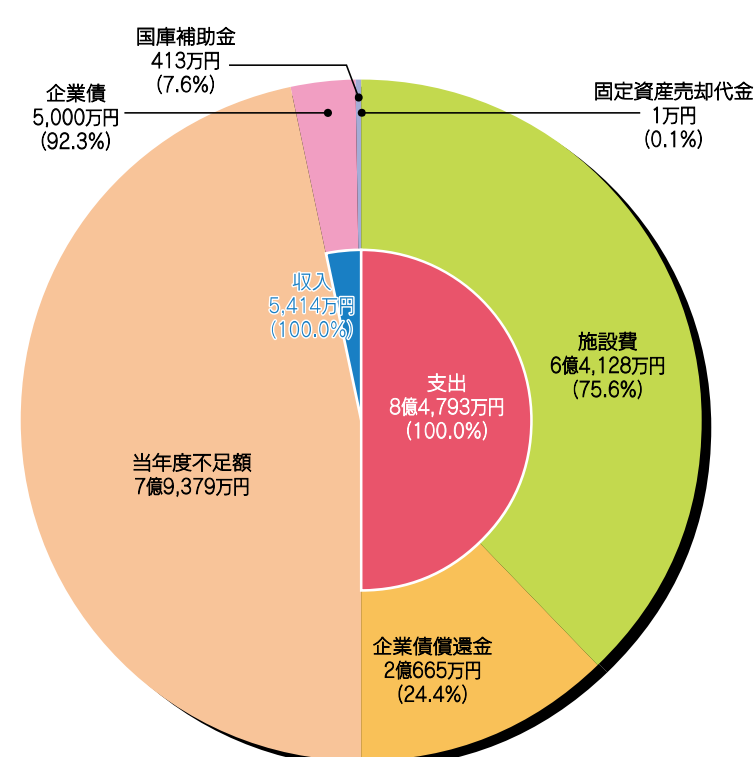
平成30年度 決算 収益的収支



イ 資本的収支

収入は企業債5,000万円、国庫補助金413万円、固定資産売却代金1万円で総額5,414万円となり、支出は施設費6億4,128万円、企業債償還金2億665万円で総額8億4,793万円となった。この結果、収支差引では7億9,379万円の不足となった。

平成30年度 決算 資本的収支



ウ 資金収支

資本的収支による資金不足額7億9,379万円を損益勘定留保資金等で補てんした結果、単年度資金収支は721万円のマイナスとなり、平成30年度末の累積資金剰余は17億7,611万円を確保した。